Google アナリティクス 4

eコマース設定 Version.2

GA4 イベントタグの「詳細設定」に 「eコマースデータを送信」が実装されました。

and,a株式会社 更新版:2022年08月31日

and,a 2022年

これまでのGA4 GTM eコマース設定との相違点

これまでのGA4 GTM eコマース設定との相違点

GA4のイベントタグの「詳細設定」に「『eコマース』 『eコマースデータを送信』」が実装されました。

これまでは、GTMによるGA4のeコマースのイベント設定では、「変数」を設定し、それをカス タムイベントタグの「イベントパラメータ」に設定する必要がありました。今後は、Google推奨 のeコマースの変数(後述)で適切なデータレイヤーの記述を行えば、「変数の設定」もカスタ ムイベントタグの「イベントパラメータ」の設定も不要になりました。

タグの設定	
タグの確認	
Google アナリティクス: GA4 イベント Google マークティングブラットフォーム	
設定タグ ①	
ga4-quick and aaa.com	
√~>>≤ ⑦ view_item	
 イベントパラメータ 	
items ((ecommerce.items))	
行在追加	
> ユーザープロバティ	
~ 詳細設定	
✓ e □マース	
 > e コマース □ e コマースデータを送信 	

eコマースの「推奨イベント」

eコマースの「推奨イベント」

eコマースの「推奨イベント」は下記の通りです。(アルファベット順)

イベント	この記事に設定方法の解説がある?	発火タイミング
add_payment_info		支払い情報送信
add_shipping_info		配送情報送信
add_to_cart	Yes	カートに商品を追加
add_to_wishlist		欲しい物リストに商品を追加
begin_checkout	Yes	購入手続きを開始
generate_lead		問い合わせのためにフォームまたはリクエストを送信した時
purchase	Yes	購入完了
refund	Yes	払い戻し実行
remove_from_cart	Yes	カートから商品を削除
select_item	Yes	リストから商品を選択
select_promotion	Yes	プロモーションを選択
view_cart		カートを表示
view_item	Yes	商品詳細を表示
view_item_list	Yes	商品一覧を表示
view_promotion	Yes	プロモーションが表示された

ECに関わるイベントの流れの例(1)



ECに関わるイベントの流れの例(2)



ECに関わるイベントの流れの例(3)



eコマースの「パラメータ」

eコマースの「パラメータ」(1)

eコマースの「パラメータ」は下記の通りです。

Google推奨のeコマースの変数については、こちらをご参照ください。 e コマース(GA4)デベロッパー ガイド

https://developers.google.com/tag-manager/ecommerce-ga4?hl=ja

パラメータ名	タイプ	必須	サンプルの値	説明
currency	string	O*	JPY	イベントに関連付けられた商 品アイテムの通貨(3 文字の ISO 4217 形式)。 * 収益の指標が正確に計算 されるように currency を指定 する必要があります。
value	number	O*	10000	金額合計。イベントの金銭的 価値。 * 収益の指標が正確に計算 されるように currency を指定 する必要があります。
coupon	string	_	Summer01	イベントに関連づけられた クーポンの名前。
payment_type	string	_	Credit Card	支払い方法
shipping_tier	string	_	Yamato	購入された商品アイテム の配送方法

eコマースの「パラメータ」(2)

パラメータ名	タイプ	必須	サンプルの値	説明
affiliation	string	_	Google Store	仕入れ先業者や実店舗を 指定する商品アフィリエー ション。
shipping	string	_	700	送料
transaction_id	string	0	T_12345	取引、注文ID
tax	string	_	800	税金
item_list_id	string	_	w01	商品が表示されたリストの ID
item_list_name	string	_	Wish_List	商品が表示されたリストの 名前
creative_name	string	_	Summer_GIG_01	プロモーションのクリエイ ティブの名前
creative_slot	string	_	featured_app_1	商品アイテムに関連付け られたプロモーション用の クリエイティブ スロットの 名前。

eコマースの「パラメータ」(3)

パラメータ名	タイプ	必須	サンプルの値	説明
location_id	string	_	L_12345	商品アイテムに関連付け られた場所。関連するアイ テムに対応する <u>Google プ</u> レイス ID を使用することを おすすめします。カスタム の地域 ID も使用できます。
promotion_id	string	_	P_12345	プロモーションの ID
promotion_name	string	_	Summer Sale	プロモーションの名前

eコマースの「itemパラメータ」

eコマースの「itemパラメータ」(1)

itemパラメータ名	タイプ	必須	サンプルの値	説明
item_id	string	O*	SKU_12345	商品アイテムの ID。 *item_id また は item_name が必要です。
item_name	string	O*	Stan and Friends Tee	商品アイテムの名前。 *item_id または item_name が必要です。
price	number	_	10000	指定された通貨パラメータの 単位で表した商品アイテムの 価格。
quantity	number	-	1	商品アイテムの数量
affiliation	string	_	Google Store	商品元や店舗を指定する 商品アフィリエーション
coupon	string	_	SUMMER_FUN	商品に関連したクーポン 名
currency	string	_	JPY	通貨(3 文字の ISO 4217 形式)

eコマースの「itemパラメータ」(2)

itemパラメータ名	タイプ	必須	サンプルの値	説明
discount	number	-	100	商品に対する割引額
item_variant	string	_	green	商品アイテムのバリエー ションまたは固有のコード、 あるいはその他の詳細や オプションに関する説明
item_brand	string	_	Amazon	商品アイテムのブランド
item_category	string	-	Apparel	
item_category2	string	-	Adult	
item_category3	string	-	Shirts	商品アイテムのカテゴリや 分類
item_category4	string	-	Crew	
item_category5	string	-	Short sleeve	
index	number	-	3	リスト内の商品アイテムの インデックスまたは位置

eコマースの「itemパラメータ」(3)

itemパラメータ名	タイプ	必須	サンプルの値	説明
item_list_id	string	_	related_products	ユーザーに商品アイテム が表示されたリストの ID。
item_list_name	string	_	Related products	ユーザーに商品アイテム が表示されたリストの名前。
location_id	string	_	L_12345	商品アイテムに関連付け られた場所。関連するアイ テムに対応する Google プレイス ID を使用 するか、カスタムの地域 ID も使用できます。
promotion_id	string	_	P_12345	商品アイテムに関連付け られたプロモーションの ID。
promotion_name	string	_	Summer Sale	商品アイテムに関連付け られたプロモーションの名 前。

1. view_item

view_item GTMイベント設定(1)これまでの設定方法

変数とパラメータの設定が必要だった時は、view_itemのイベントタグの設定は下記のようになっていました。

タグの設定
タグの種類
Google アナリティクス: GA4 イベント Google マーケティングブラットフォーム
設定タグ ③
ga4-quick.and-aaa.com 👻
イベント名 ⑦
view_item +
a cost litera b
 マーイベンドハラメージ パラメータ名 items 値 {(ecommerce.items)} 値 ○
 マ イベンドバラメータ パラメータ名 items ({ecommerce.items}) ご (fを追加
 マーガープロパティ マーガープロパティ
 イベンドバラメーダ (fラメーダ名 (ecommerce.items)) 価 (イを追加 ・ ユーザープロパティ ・ 詳細設定
 マース、 マーズークを送信

view_item GTMイベント設定(2) 今後の設定方法

現在の設定方法では、Google推奨のeコマースの変数を使っていれば、変数の設定が不要 となります。また、イベントタグに「イベント パラメータ」を記述する必要もありません。「e コ マースデータを送信」にチェックを入れて、データソースは「Data Layer」を選択します。

× view_item 🗖		
	タグの設定	
	タグの種類	
	Google アナリティクス: GA4 イベント Google マーケティング ブラットフォーム	
	設定タグ ⑦	
	ga4-quick.and-aaa.com マ イベント名 ②	
	view_item	
	 ✓ イベントバラメ−タ バラメ−タ名 行を追加 	
	> ユーザープロパティ	
	✓ 詳細設定	
	 > e コマース ✓ e コマースデータを送信 データソース Data Layer 	
	> 詳細設定	

view_item GTMイベント設定(3)トリガー

トリガーのタイプは、「カスタムイベント」を使用しています。

× view_item 🗖			
	トリガーの設定		
	トリガーのタイプ		
	カスタム イベント		/
	イベント名		
	view_item	□ 正規表現一致を使用	
	このトリガーの発生場所	一部のカスタムイベント	
	このトリガーへの参照		
	O view_item タヴ		

view_item GTMイベント設定(4) データレイヤーの例

```
<script>
window.dataLayer = window.dataLayer || [];
dataLayer.push({ ecommerce: null });
dataLayer.push({ event: "view item",
ecommerce: {
 items: [{
  item name: "Donut Friday Scented ",
  item id: "ii20220829 0933",
  price: 10000,
  item brand: "Google",
  item category: "Apparel",
  item category2: "Mens",
  item category3: "Shirts",
  item category4: "Tshirts",
  item variant: "Black",
  item list name: "Search Results",
  item list id: "SR123",
  index: 1,
  quantity: 1
 }]
} });
</script>
```



2. purchase

purchase GTMイベント設定(1)これまでの設定方法

変数とパラメータの設定が必要だった時は、purchaseのイベントタグの設定は下記のように なっていました。

タグの設定					
タグの種類					
Google アナリテ Google マーケティ	ィ クス: GA4 イベント ングプラットフォーム				/
設定タグ ⑦					
ga4-quick.and-aaa.com	*				
イベント名 ②					
purchase	628				
✓ イベントバラメータ			-		
 ✓ イベントバラメータ パラメータ名 transaction_id 		153	値 {(ecommerce.transaction_id)}	101	Θ
 ✓ イベントバラメータ バラメータ名 transaction_id affiliation 		121	徑 {{ecommerce.transaction_id}} {{ecommerce.affiliation}}	428	Θ
 ✓ イベントバラメータ パラメータ名 transaction_id affiliation value 		828 828 828	<pre>@ {(ecommerce.transaction_id)} {(ecommerce.affiliation)} {(ecommerce.value)}</pre>		9 9
 ✓ イベントバラメータ パラメータ名 transaction_id affiliation value tax 			<pre>((ecommerce.transaction_id)) ((ecommerce.affiliation)) ((ecommerce.value)) ((ecommerce.tax))</pre>		9 9 9
 イベントバラメータ パラメータ名 transaction_id affiliation value tax shipping 					
 イベントバラメータ パラメータ名 transaction_id affiliation value tax shipping currency 			<pre>((ecommerce.transaction_id)) ((ecommerce.affiliation)) ((ecommerce.value)) ((ecommerce.tax)) ((ecommerce.shipping)) ((ecommerce.currency))</pre>		
 イベントバラメータ パラメータ名 transaction_id affiliation value tax shipping currency coupon 			<pre>((ecommerce.transaction_id)) ((ecommerce.affiliation)) ((ecommerce.value)) ((ecommerce.tax)) ((ecommerce.shipping)) ((ecommerce.currency)) ((ecommerce.currency)) </pre>		

purchase GTMイベント設定(2)今後の設定方法

現在の設定方法では、Google推奨のeコマースの変数を使っていれば、変数の設定が不要 となります。また、イベントタグに「イベント パラメータ」を記述する必要もありません。「e コ マースデータを送信」にチェックを入れて、データソースは「Data Layer」を選択します。

× purchase	
タグの設定	
タグの種類	
Google アナリティクス: GA4 イベント Google マーケティング ブラットフォーム	
設定タグ ③	
ga4-quick.and-aaa.com 👻	
1~>>2 @	
purchase 📫	
 イベントパラメータ 	
パラメータ名 値 行を追加	
 ユーザープロパティ プロパティ名 行を追加 	
~ 詳細設定	
 マ e コマース マ a コマースデータを送信 データソース Data Layer 	

purchase GTMイベント設定(3)トリガー

トリガーのタイプは、「カスタムイベント」を使用しています。

× purchase 🗖	
	トリガーの設定
	トリガーのタイプ
	イベント名 purchase 」 正規表現一致を使用
	このトリガーの発生場所 すべてのカスタムイベント 一部のカスタムイベント
	このトリガーへの参照 purchase
	✓ \$7

purchase GTMイベント設定(4)データレイヤーの例

```
<script>
window.dataLayer = window.dataLayer || [];
dataLayer.push({ ecommerce: null });
dataLayer.push({event: "purchase",
ecommerce: {
 transaction id: "T20220829 0933",
  affiliation: "Online Store",
  value: "20000",
  tax: "1600",
  shipping: "1000",
  currency: "JPY",
  coupon: "SUMMER SALE",
  items: [{
   item name: "Donut Friday Scented T-Shirt",
   item id: "ii20220829 0933",
   price: 10000,
   item brand: "Google",
   item category: "Apparel",
   item variant: "Black",
   quantity: 1
  }, {
   item name: "Donut Friday Scented T-Shirt",
   item id: "ii20220829 0933 2",
   price: 10000, item brand: "Amazon",
   item category: "Apparel",
   item variant: "Red",
   quantity: 1
  }]
});
</script>
```

3. view_promotion

view_promotion GTMイベント設定(1)これまでの設定方法

変数とパラメータの設定が必要だった時は、view_promotionのイベントタグの設定は下記のようになっていました。

× view_promotion	
	タグの設定
	タグの環境
	Google アナリティクス: GA4 イベント Google マーケティングプラットフォーム
	設定タグ ③
	1 イベント名 ③
	view_promotion
	マ イベントパラメータ
	items ({ecommerce.items})
	行を追加
	> ユーザー プロバティ
	> 詳細設定
	> 詳細設定

view_promotion GTMイベント設定(2)今後の設定方法

現在の設定方法では、Google推奨のeコマースの変数を使っていれば、変数の設定が不要 となります。また、イベントタグに「イベント パラメータ」を記述する必要もありません。「e コ マースデータを送信」にチェックを入れて、データソースは「Data Layer」を選択します。

× view_promotion		
	タグの設定	
	タグの種類	
	Google アナリティクス: GA4 イベント Google マーケティング ブラットフォーム	
	設定タグ ③	
	ga4-quick.and-aaa.com ・ イベント名 ③	
	view_promotion	
	 イベントバラメータ バラメータ名 行を追加 	
	> ユーザープロパティ	
	✓ 詳細設定	
	 ▼ e コマース マ e コマースデータを送信 データソース Data Layer 	
	> 詳細設定	

view_promotion GTMイベント設定(3)トリガー

トリガーのタイプは、「カスタムイベント」を使用しています。

× view_promotion 🗅			
	トリガーの設定		
	トリガーのタイプ		
	 カスタムイベント 		1
	イベント名		
	view_promotion	□ 正規表現一致を使用	
	このトリガーの発生場所		
	 すべてのカスタムイベント) 一部のカスタム イベント	
	このトリガーへの参照		
	view_promotion タウ		

view_promotion GTMイベント設定(4) データレイヤーの例

```
<script>
window.dataLayer = window.dataLayer || [];
dataLayer.push({ ecommerce: null });
dataLayer.push({
event: "view promotion",
ecommerce: {
  items: [{
   item name: "Donut Friday Scented T-Shirt",
   item id: "ii20220829 0933",
   price: 10000,
   item brand: "Google",
   item_category: "Apparel",
   item category2: "Mens",
   item category3: "Shirts",
   item category4: "Tshirts",
   item variant: "Black",
   promotion_id: "abc123",
   promotion name: "summer promo",
   creative name: "instore suummer",
   creative slot: "1",
   location id: "hero banner",
   index: 1,
   quantity: 1
  }]
});
</script>
```

4. select_promotion

select_promotion GTMイベント設定(1)これまでの設定方法

変数とパラメータの設定が必要だった時は、select_promotionのイベントタグの設定は下記のようになっていました。

X select_promotion	
	タグの設定
	タグの種類
	Google アナリティクス: GA4 イベント Google マーケティング ブラットフォーム
	設定タグ ⑦
	gaa-quick.and-aaa.com ♥ イベント名 ②
	select_promotion
	✓ イベントパラメータ
	パラメータ名 値 items 値 {{ecommerce.items}}
	行を追加
	> ユーザープロバティ
	> 詳細設定
	> 詳細設定

select_promotion GTMイベント設定(2) 今後の設定方法

現在の設定方法では、Google推奨のeコマースの変数を使っていれば、変数の設定が不要 となります。また、イベントタグに「イベント パラメータ」を記述する必要もありません。「e コ マースデータを送信」にチェックを入れて、データソースは「Data Layer」を選択します。

X select_promotion	
	タグの設定
	タグの種類
	Google アナリティクス: GA4 イベント Google マーケティング ブラットフォーム
	設定タグ ③
	ga-4quick.and-aaa.com
	select_promotion
	 ✓ イベントバラメータ パラメータ名 値 行を追加
	> ユーザープロパティ
	 > 詳細設定 > e コマース ✓ e コマースデータを送信 データソース Data Layer
	> 詳細設定

select_promotion GTMイベント設定(3)トリガー

トリガーは「クリック・リンクのみ」を使用しています。

トリガーの「Click Classess 等しい Select_Promotion」の「Select_Promotion」は、次ページのselect_promotionのHTMLのソースのサンプルに記述してあります。

トリガーの設定				
トリガーのタイプ				
🥝 クリック・リ	ンクのみ			/
□ タグの配信を待つ (3			
□ 妥当性をチェック(3			
このトリガーの発生場所				
○ すべてのリンククリ	ック 💿 -	部のリンククリック		
イベント発生時にこれらすべ	ての条件が true d	の場合にこのトリガーを配信し	ます	

<u>select_promotion GTMイベント設定(4) HTMLソースの例</u>

<html lang="ja"> <head>

<script> function onPromotionClick() {

```
var dataset = JSON.parse(JSON.stringify(this.dataset));
```

var item = Object.getOwnPropertyNames(dataset).reduce(function(prev, current) { var key = current.replace(/[A-Z]/g, function(char){ return '_' + char.toLowerCase();}); prev[key] = /price|index|quantity/.test(key) ? Number(dataset[current]) : dataset[current]; return prev

```
}, {});
```

```
dataLayer.push({ ecommerce: null });
dataLayer.push({
event: "select_promotion",
ecommerce: {
items: [ item ]
}
});
}
```

</script>

<!-- Google Tag Manager -->
<script>(function(w,d,s,l,i){w[l]=w[l]||[];w[l].push({'gtm.start':
 new Date().getTime(),event:'gtm.js'});var f=d.getElementsByTagName(s)[0],
 j=d.createElement(s),dl=l!='dataLayer'?'&l='+l:'';j.async=true;j.src=
 'https://www.googletagmanager.com/gtm.js?id='+i+dl;f.parentNode.insertBefor
 e(j,f);
})(window,document,'script','dataLayer','GTM-WKLP4D3');</script>
<!-- End Google Tag Manager -->

<meta charset="utf-8" /> <link rel="stylesheet" href="css/general.css"/> <title>EC_select_promotion | EC_test</title> </head>

<body>

<!-- Google Tag Manager (noscript) --> <noscript><iframe src="https://www.googletagmanager.com/ns.html?id=GTM-WKLP4D3" height="0" width="0" style="display:none;visibility:hidden"></iframe></noscript> <!-- End Google Tag Manager (noscript) -->

<h1>ECテスト select_promotion</h1>

</body> </html>

公式ヘルプ

(https://developers.google. com/tagmanager/ecommercega4?hl=ja#measure promoti on clicks)に掲載されている コードサンプルはdataLayer というより関数になっていま す。 このため、GTMでクリックイ ベントを作成しただけでは上 手く取得できないので以下 のどれかの対策が必要です。 (1) 対象の要素をクリックし た時にこの関数が発火する ようにする (2) コードサンプルを関数で はない、通常のdataLayerに 直す (3) サイトによって構成が違 うため、エンジニア様に相談 する 今回は、「(1) 対象の要素を クリックした時にこの関数が 発火するようにする」の例を 記述します。

5. view_item_list

<u>view_item_list</u> GTMイベント設定(1) これまでの設定方法

変数とパラメータの設定が必要だった時は、view_item_listのイベントタグの設定は下記のようになっていました。

× view_item_list 🗅	
	タグの設定
	タグの種類
	Google アナリティクス: GA4 イベント ア Google マーケティングブラットフォーム ア
	設定タグ ③
	ga4-quick.and-aaa.com
	view_item_list
	✓ イベントバラメータ
	パラメータ名 値
	items + {{ecommerce.ttems}} + ()
	> ユーザー プロパティ
	> 詳細設定
	> 詳細設定

view_item_list GTMイベント設定(2) 今後の設定方法

現在の設定方法では、Google推奨のeコマースの変数を使っていれば、変数の設定が不要 となります。また、イベントタグに「イベント パラメータ」を記述する必要もありません。「e コ マースデータを送信」にチェックを入れて、データソースは「Data Layer」を選択します。

× view_item_list 🗅	
	タグの設定
	タグの種類
	Google アナリティクス: GA4 イベント Google マーケティング ブラットフォーム
	設定タク ③
	ga4-quick.and-aaa.com
	view_item_list
	・ イベントパラメータ
	> ユーザープロパティ
	✓ 詳細設定
	✓ e コマース
	✓ e コマースデータを送信 データソース
	Data Layer 👻
	> 詳細設定

view_item_list GTMイベント設定(3)トリガー

トリガーのタイプは、「カスタムイベント」を使用しています。

× view_item_list			
	トリガーの設定		
	トリガーのタイプ		
	の カスタムイベント		/
	イベント名		
	view_item_list	□ 正規表現一致を使用	
	このトリガーの発生場所		
	 すべてのカスタムイベント) 一部のカスタムイベント	
	このトリガーへの参照		
	view_item_list タグ		

view_item_list GTMイベント設定(4) データレイヤーの例

<script> window.dataLayer = window.dataLayer || []; dataLayer.push({ ecommerce: null }); dataLayer.push({ event: "view promotion", ecommerce: { items: [{ item name: "Donut Friday Scented T-Shirt", item id: "ii20220829 0933", price: 10000, item brand: "Google", item_category: "Apparel", item category2: "Mens", item category3: "Shirts", item category4: "Tshirts", item variant: "Black", promotion id: "abc123", promotion name: "summer promo", creative name: "instore suummer", creative slot: "1", location id: "hero banner", index: 1, quantity: 1 }] }); </script>

6. select_item

<u>select_item GTMイベント設定(1) これまでの設定方法</u>

変数とパラメータの設定が必要だった時は、select_itemのイベントタグの設定は下記のようになっていました。

× select_item 🗖	
	タグの設定
	タグの種類
	Google アナリティクス: GA4 イベント アナリティクス: GA4 イベント Google マーケティング ブラットフォーム ア
	設定タグ ③
	ga4-quick.and-aaa.com
	select_item
	▼ イベントパラメータ
	パラメータ名 値
	items {{ecommerce.items}}
	行を追加
	> ユーザープロバティ
	> 詳細設定
	> 詳細設定

select_item GTMイベント設定(2) 今後の設定方法

現在の設定方法では、Google推奨のeコマースの変数を使っていれば、変数の設定が不要 となります。また、イベントタグに「イベント パラメータ」を記述する必要もありません。「e コ マースデータを送信」にチェックを入れて、データソースは「Data Layer」を選択します。

 タグの設定
タグの種類
Google アナリティクス: GA4 イベント Google マーケティングブラットフォーム
設定タグ ③ ga4-guick and-aaa.com
イベント名 ②
select_item
 ✓ イベントバラメータ パラメータ名 値 行を追加
> ユーザープロパティ
✓ 詳細設定
 ✓ e コマース ✓ e コマースデータを送信 データソース Data Laver

select_item GTMイベント設定(3)トリガー

トリガーは「クリック・リンクのみ」を使用しています。

トリガーの「Click Classess 等しい Select_Promotion」の「Select_Promotion」は、次ページのselect_promotionのHTMLのソースのサンプルに記述してあります。

トリガーの設定				
トリガーのタイプ				
🥏 クリック・リン	クのみ			/
□ タグの配信を待つ ②)			
□ 妥当性をチェック ⑦)			
このトリガーの発生場所				
○ すべてのリンククリッ	ック 🔘 -	部のリンククリック		
イベント発生時にこれらすべて	ての条件が true d	D場合にこのトリガーを配信し	します	

select_item GTMイベント設定(4) HTMLソースの例

<html lang="ja" > <head>

<script> function onProductClick() {

```
var dataset = JSON.parse(JSON.stringify(this.dataset));
```

var item = Object.getOwnPropertyNames(dataset).reduce(function(prev, current) {

```
var key = current.replace(/[A-Z]/g, function(char){ return '_' +
char.toLowerCase();});
```

prev[key] = /price|index|quantity/.test(key) ? Number(dataset[current]) :
dataset[current];

return prev

```
}, {});
```

window.dataLayer = window.dataLayer || [];

```
dataLayer.push({ ecommerce: null });
```

```
dataLayer.push({
```

```
event: "select_item",
```

```
ecommerce: {
```

```
items: [ item ]
```

```
}
});
```

```
ו),
נ
```

```
</script>
```

<!-- Google Tag Manager -->

<script>(function(w,d,s,l,i){w[l]=w[l]||[];w[l].push({'gtm.start': new Date().getTime(),event:'gtm.js'});var f=d.getElementsByTagName(s)[0],

j=d.createElement(s),dl=l!='dataLayer'?'&l='+l:'';j.async=true;j.src=

'https://www.googletagmanager.com/gtm.js?id='+i+dl;f.parentNode.insertBefor e(j,f);

})(window,document,'script','dataLayer','GTM-WKLP4D3');</script>
<!-- End Google Tag Manager -->

<meta charset="utf-8" /> <link rel="stylesheet" href="css/general.css"/> <title>EC_select_item | EC_test</title> </head>

<body>

<!-- Google Tag Manager (noscript) --> <noscript><iframe src="https://www.googletagmanager.com/ns.html?id=GTM-WKLP4D3" height="0" width="0" style="display:none;visibility:hidden"></iframe></noscript> <!-- End Google Tag Manager (noscript) -->

<h1>ECテスト select_item</h1>

</body>

</html>

Donut Friday Scanted T-Shirt

| 公式ヘルプ(https://developers.google.com/tag-manager/ecommerce- |
|--|
| ga4?hl=ja#measure_promotion_clicks)に掲載されているコードサンプル |
| はdataLayerというより関数になっています。 |
| このため、GTMでクリックイベントを作成しただけでは上手く取得できない |
| ので以下のどれかの対策が必要です。 |
| (1) 対象の要素をクリックした時にこの関数が発火するようにする |
| (2) コードサンプルを関数ではない、通常のdataLayerに直す |
| (3) サイトによって構成が違うため、エンジニア様に相談する |
| 今回は、「(1)対象の要素をクリックした時にこの関数が発火するように |
| する」の例を記述します。 |
| |

7. add_to_cart

add_to_cart GTMイベント設定(1) これまでの設定方法

変数とパラメータの設定が必要だった時は、add_to_cartのイベントタグの設定は下記のようになっていました。

| × add_to_cart 🗀 | |
|-----------------|--|
| | タグの設定 |
| | タグの種類 |
| | Google アナリティクス: GA4 イベント Google マーケティングブラットフォーム |
| | 設定タグ ③ |
| | |
| | add_to_cart |
| | ✓ イベントパラメータ |
| | パラメータ名 @ items items} items} items ite |
| | 行を追加 |
| | > ユーザーブロパティ |
| | > 詳細設定 |
| | > 詳細設定 |

add_to_cart GTMイベント設定(2) 今後の設定方法

現在の設定方法では、Google推奨のeコマースの変数を使っていれば、変数の設定が不要 となります。また、イベントタグに「イベント パラメータ」を記述する必要もありません。「e コ マースデータを送信」にチェックを入れて、データソースは「Data Layer」を選択します。

| × add_to_cart 🗖 | | |
|-----------------|--|---|
| | タグの設定 | ٦ |
| | タグの種類 | |
| | Google アナリティクス: GA4 イベント
Google マーケティングブラットフォーム | |
| | 設定タグ ⑦ | |
| | ga4-quick.and-aaa.com ・ | |
| | add_to_cart | |
| | ✓ イベントバラメータ
パラメータ名 役を追加 | |
| | > ユーザープロバティ | |
| | ¥ 詳細設定 | |
| | × e コマース ✓ e コマースデータを送信 データソース Data Layer | |
| | > 詳細設定 | |

add_to_cart GTMイベント設定(3)トリガー

トリガーは「クリック - リンクのみ」を使用しています。 トリガーの「Click Classess 等しい add_to_cart」の「add_to_cart」は、次ページの add_to_cartのHTMLのソースのサンプルに記述してあります。

| × add_to_cart 🗅 | | | | |
|-----------------|--------------------------------|------------------|-------------|-----|
| | トリガーの設定 | | | |
| | トリガーのタイプ | | | |
| | 🥏 クリック・リンクのみ | | | 1 |
| | □ タグの配信を待つ ⑦ | | | |
| | □ 妥当性をチェック ⑦ | | | |
| | このトリガーの発生場所 | | | |
| | ○ すべてのリンククリック ③ - | - 部のリンククリック | | |
| | イベント発生時にこれらすべての条件が true | の場合にこのトリガーを配信します | | |
| | Click Classes 👻 | 等しい 👻 | add_to_cart | - + |
| | このトリガーへの参照
o add_to_cart タウ | | | |

add_to_cart GTMイベント設定(4) HTMLソースの例

```
<meta charset="utf-8" />
<html lang="ja" >
                                                                                 k rel="stylesheet" href="css/general.css"/>
<head>
                                                                                 <title>EC add to cart | EC test</title>
                                                                                 </head>
<script>
window.dataLayer = window.dataLayer || [];
                                                                                 <body>
// Measure when a product is added to a shopping cart
dataLayer.push({ ecommerce: null }); // Clear the previous ecommerce object.
                                                                                 <!-- Google Tag Manager (noscript) -->
dataLayer.push({
                                                                                 <noscript><iframe src="https://www.googletagmanager.com/ns.html?id=GTM-
 event: "add to cart",
                                                                                 WKLP4D3"
  ecommerce: {
                                                                                 height="0" width="0"
   items: [{
                                                                                 style="display:none;visibility:hidden"></iframe></noscript>
    item name: "Donut Friday Scented T-Shirt",
                                                                                 <!-- End Google Tag Manager (noscript) -->
    item id: "ii20220829 0933",
    price: 10000,
                                                                                 <h1>ECテスト add to cart</h1>
    item brand: "Google",
    item category: "Apparel",
                                                                                 item category2: "Mens",
                                                                                 <a class="add to cart" href="cart/cart.html"><strong>Donut Friday Scented T-
    item category3: "Shirts",
                                                                                 Shirt</strong>をカートに入れる</a>
    item category4: "Tshirts",
                                                                                 item variant: "Black",
    item list name: "Search Results",
                                                                                 </body>
    item list id: "SR123",
                                                                                 </html>
    index: 1.
    quantity: 1
   }]
  }
 });
</script>
<!-- Google Tag Manager -->
<script>(function(w,d,s,l,i){w[l]=w[l]| [];w[l].push({'gtm.start':
new Date().getTime(),event:'gtm.js'});var f=d.getElementsByTagName(s)[0],
j=d.createElement(s),dl=l!='dataLayer'?'&l='+l:";j.async=true;j.src=
'https://www.googletagmanager.com/gtm.js?id='+i+dl;f.parentNode.insertBefor
e(j,f);
})(window,document,'script','dataLayer','GTM-WKLP4D3');</script>
<!-- End Google Tag Manager -->
```

8. remove_from_cart

remove_from_cart GTMイベント設定(1) これまでの設定方法

変数とパラメータの設定が必要だった時は、remove_from_cartのイベントタグの設定は下記のようになっていました。

× remove_from_cart	
タグの設定	
タグの種類	
Google アナリティクス: GA4 イベント Google マーケティングブラットフォーム	/
設定タグ ⑦	
1ベント名 ③	
remove_from_cart	
 イベントパラメータ パラメータ名< 値 	
items ({ecommerce.items})	Θ
行を追加	_
> ユーザー プロバティ	
> 詳細設定	
> 詳細設定	

remove_from_cart GTMイベント設定(2)今後の設定方法

現在の設定方法では、Google推奨のeコマースの変数を使っていれば、変数の設定が不要 となります。また、イベントタグに「イベント パラメータ」を記述する必要もありません。「e コ マースデータを送信」にチェックを入れて、データソースは「Data Layer」を選択します。

× remove_from_cart
タグの設定
タグの種類
Google アナリティクス: GA4 イベント Google マーケティングブラットフォーム
設定タグ ⑦ ga4-guick and-aaa.com
Jun quonana addiconn イベント名 ③
remove_from_cart
 イベントパラメータ
行友追加
> ユーザープロパティ
ど 詳細設定
 ✓ e コマース ✓ e コマースデータを送信
データソース Data Layer
> 詳細設定

remove_from_cart GTMイベント設定(3)トリガー

トリガーは「クリック・リンクのみ」を使用しています。

トリガーの「Click Classess 等しい remove_from_cart」の「remove_from_cart」は、次ページのremove_from_cartのHTMLのソースのサンプルに記述してあります。

× remove_from_cart (
	トリガーの設定				
	トリガーのタイプ				
	クリック・リンクのみ				/
	□ タグの配信を待つ ⑦				
	□ 妥当性をチェック ⑦				
	このトリガーの発生場所	一部のリンククリック			
	イベント発生時にこれらすべての条件が true	の場合にこのトリガーを配信しま	ます		
	Click Classes 👻	含む	-	remove_from_cart	- +
				n	

remove_from_cart GTMイベント設定(4) HTMLソースの例

<html lang="ja" > <head>

<script>

```
window.dataLayer = window.dataLayer || [];
// Measure the removal of a product from a shopping cart.
dataLayer.push({ ecommerce: null });
dataLayer.push({
 event: "remove from cart",
 ecommerce: {
  items: [{
   item name: "Donut Friday Scented T-Shirt",
   item id: "ii20220829 0933",
   price: 10000,
   item brand: "Google",
   item category: "Apparel",
   item_category2: "Mens",
   item category3: "Shirts",
   item category4: "Tshirts",
   item variant: "Black",
   item list name: "Search Results",
   item list id: "SR123",
   index: 1,
   quantity: 1
  }]
 }
});
</script>
```

<!-- Google Tag Manager -->

<script>(function(w,d,s,l,i){w[l]=w[l]| [];w[l].push({'gtm.start':

new Date().getTime(),event:'gtm.js'});var f=d.getElementsByTagName(s)[0],

j=d.createElement(s),dl=l!='dataLayer'?'&l='+l:";j.async=true;j.src=

'https://www.googletagmanager.com/gtm.is?id='+i+dl;f.parentNode.insertBefor

e(j,f);

})(window,document,'script','dataLayer','GTM-WKLP4D3');</script>

<!-- End Google Tag Manager -->

<meta charset="utf-8" /> k rel="stylesheet" href="css/general.css"/> <title>EC view item | EC test</title> </head>

<body>

<!-- Google Tag Manager (noscript) --> <noscript><iframe src="https://www.googletagmanager.com/ns.html?id=GTM-WKLP4D3" height="0" width="0" style="display:none;visibility:hidden"></iframe></noscript> <!-- End Google Tag Manager (noscript) -->

<h1>ECテスト remove from cart</h1>

Donut Friday Scented T-Shirtを カートから削除

</body> </html>

9. begin_checkout

begin_checkout GTMイベント設定(1)これまでの設定方法

変数とパラメータの設定が必要だった時は、begin_checkoutのイベントタグの設定は下記のようになっていました。

| × begin_checkout 🗖 | 1 | | | |
|--------------------|---------------------------------|----------------------------------|--------------------------|------------|
| | タグの設定 | | | |
| | タグの種類 | | | |
| | Google アナリティ・
Google マーケティング | クス: GA4 イベント
ナプラットフォーム | | 1 |
| | 設定タグ ② | | | |
| | ga4-quick.and-aaa.com | • | | |
| | イベント名 ② | | | |
| | begin_checkout | 628 | | |
| | ✓ イベントパラメータ
パラメータ名
items | | 値
{{ecommerce.items}} | m © |
| | 行を追加
> ユーザープロバティ | | | |
| | > 詳細設定 | | | |
| | > 詳細設定 | | | |

begin_checkout GTMイベント設定(2)今後の設定方法

現在の設定方法では、Google推奨のeコマースの変数を使っていれば、変数の設定が不要 となります。また、イベントタグに「イベント パラメータ」を記述する必要もありません。「eコ マースデータを送信」にチェックを入れて、データソースは「Data Layer」を選択します。

| < begin_checkout 🗖 |
|--|
| タグの設定 |
| タグの種類 |
| Google アナリティクス: GA4 イベント
Google マーケティングブラットフォーム |
| 設定タグ ③
ga4-quick.and-aaa.com |
| イベンド名 ③ |
| begin_cneckout |
| ✓ イベントバラメータ パラメータ名 (行を追加 |
| > ユーザー プロバティ |
| ✓ 詳細設定 ✓ e コマース ✓ e コマースデータを送信 |
| データソース
Data Layer |
| > 詳細設定 |

begin_checkout GTMイベント設定(3)トリガー

トリガーは「クリック - リンクのみ」を使用しています。

トリガーの「Click Classess 等しい begin_checkout」の「begin_checkout」は、次ページの begin_checkoutのHTMLのソースのサンプルに記述してあります。

| トリガーの設定 | | | | | | |
|-----------------------------|--------------|---------------|-----|----------------|---|----|
| トリガーのタイプ | | | | | | |
| 🥏 クリック・リン | クのみ | | | | , | p* |
| タグの配信を待つ ⑦ | | | | | | |
| □ 妥当性をチェック ⑦ | | | | | | |
| このトリガーの発生場所 | | | | | | |
| ○ すべてのリンククリッ | ック 💿 - | 部のリンククリック | | | | |
| イベント発生時にこれらすべて | ての条件が true d | の場合にこのトリガーを配信 | します | | | |
| Click Classes | - | 含む | - | begin_checkout | | + |
| Click Classes
このトリガーへの参照 | • | <u>含む</u> | • | begin_checkout | | - |

begin_checkout GTMイベント設定(4) HTMLソースの例

<html lang="ja" > <head>

<script>

```
function onCheckout() {
 window.dataLayer = window.dataLayer || [];
 dataLayer.push({ ecommerce: null }); // Clear the previous ecommerce
object.
 dataLayer.push({
  event: "begin_checkout",
  ecommerce: {
   items: [{
    item name: "Donut Friday Scented T-Shirt",
    item_id: "ii20220829_0933",
    price: 10000,
    item brand: "Google",
    item_category: "Apparel",
    item category2: "Mens",
    item category3: "Shirts",
    item_category4: "Tshirts",
    item variant: "Black",
    item_list_name: "Search Results",
    item _list_id: "SR123",
    index: 1,
    quantity: 1
   }]
  }
 });
</script>
```

<!-- Google Tag Manager -->

<script>(function(w,d,s,l,i){w[l]=w[l]||[];w[l].push({'gtm.start': new Date().getTime(),event:'gtm.js'});var f=d.getElementsByTagName(s)[0], j=d.createElement(s),dl=l!='dataLayer'?'&l='+l:'';j.async=true;j.src= 'https://www.googletagmanager.com/gtm.js?id='+i+dl;f.parentNode.insertBefore(j,f); })(window,document,'script','dataLayer','GTM-WKLP4D3');</script> <!-- End Google Tag Manager -->

<meta charset="utf-8" /> <link rel="stylesheet" href="css/general.css"/> <title>EC_begin_checkout | EC_test</title> </head>

<body>

<!-- Google Tag Manager (noscript) --> <noscript><iframe src="https://www.googletagmanager.com/ns.html?id=GTM-WKLP4D3" height="0" width="0" style="display:none;visibility:hidden"></iframe></noscript> <!-- End Google Tag Manager (noscript) -->

<h1>ECテスト begin_checkout</h1>

チェックア ウトプロセスを開始する。

</body> </html>

10. refund

refund GTMイベント設定(1)これまでの設定方法

変数とパラメータの設定が必要だった時は、refundのイベントタグの設定は下記のように なっていました。

| × refund 🗅 | | | | | |
|------------|--|-----|--------|---------------|--|
| | タグの設定 | | | | |
| | タグの種類 | | | | |
| | Google アナリティクス: GA4 イベント Google マーケティング ブラットフォーム | | | | |
| | 設定タグ ③ | | | | |
| | ga4-quick.and-aaa.com | · • | | | |
| | イベント名 ⑦
refund | 101 | | | |
| | | | | | |
| | * 1ハンドハラメータ
パラメータ名 | | 値 | | |
| | items | | ({ecom | merce.items}} | |
| | 行を追加 | | | | |
| | > ユーザープロパティ | | | | |
| | > 詳細設定 | | | | |
| | > 詳細設定 | | | | |

refund GTMイベント設定(2)今後の設定方法

現在の設定方法では、Google推奨のeコマースの変数を使っていれば、変数の設定が不要 となります。また、イベントタグに「イベント パラメータ」を記述する必要もありません。「eコ マースデータを送信」にチェックを入れて、データソースは「Data Layer」を選択します。

| × refund 🗅 | | |
|------------|--|---|
| | タグの設定 | |
| | タグの種類 | |
| | Google アナリティクス: GA4 イベント Google マーケティング ブラットフォーム | / |
| | 設定タグ ③ | |
| | 1つとして、1000000000000000000000000000000000000 | |
| | refund | |
| | イベントバラメータ パラメータ名 行を追加 | |
| | > ユーザープロバティ | |
| | ~ 詳細設定 | |
| | ▼ e コマース ▼ e コマースデータを送信 データソース | |
| | Data Layer 🗸 | |
| | > 詳細設定 | |

refund GTMイベント設定(3)トリガー

トリガーは「カスタムイベント」を使用します。

| × refund 🗖 | |
|------------|------------------------------|
| | トリガーの設定 |
| | トリガーのタイプ |
| | |
| | イベント名 |
| | refund 正規表現一致を使用 |
| | このトリガーの発生場所 |
| | すべてのカスタムイベント 一部のカスタムイベント |
| | このトリガーへの参照 |
| | refund |
| | |

refund GTMイベント設定(4) データレイヤーの例

```
<script>
window.dataLayer = window.dataLayer || [];
dataLayer.push({ ecommerce: null });
dataLayer.push({
 event: "refund",
 ecommerce: {
  transaction id: "20220830-1350",
  items: [{
   item name: "Donut Friday Scented T-Shirt",
   item id: "ii20220829 0933",
   price: 10000,
   item_brand: "Google",
   item category: "Apparel",
   item category2: "Mens",
   item category3: "Shirts",
   item category4: "Tshirts",
   item_variant: "Black",
   item list name: "Search Results",
   item_list_id: "SR123",
   index: 1,
   quantity:
  }]
});
</script>
```

テキストはここまでとなります。